

完了後の評価個表

整理番号 森2-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	北海道
ふりがな 地域(地区)名	えさしちよう 枝幸町	事業実施主体	北海道、枝幸町、南宗谷森林組合等
関係市町村	枝幸町	管理主体	枝幸町、南宗谷森林組合等
事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）	完了後経過年数	6年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 枝幸町は、宗谷総合振興局管内の最南部の位置にあり、西北は山岳によって浜頓別町に隣接し、西南は上川総合振興局管内の音威子府村に隣接、南は上川総合振興局管内の美深町、オホーツク総合振興局の雄武町に隣接しており東は延長51kmの海岸線がオホーツク海に面している。</p> <p>② 森林の状況 本町の森林面積91千ha（森林率81%）のうち、民有林面積は43千haで森林全体の48%を占めており、内訳は町有林が39千ha（11%）、私有林が39千ha（89%）であり、樹種ではトドマツとアカエゾマツなどの針葉樹が大半を占め、VI齢級以下の若齢林が35%を占めている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意識 人工林はVI齢級以下の若齢林が35%を占めていることから、今後の保育・間伐等を必要としているが、安価な輸入材の増加による価格の低迷や非木質系建設資材の進出に伴う木材需給の減退に加え、林業従事者の高齢化など林業を取り巻く環境はきわめて厳しい状況にあった。 また、森林経営の基盤となる林道等の路網が不十分であったことから、適切な森林施業の実施や効率的な木材生産に支障があった。 このため、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林においては森林管理道の整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 612ha 下刈 4,656ha 除・間伐 2,744ha、受光伐等 1,887ha 作業路整備 17,770m</p> <p>林道整備</p> <table border="1"> <tr> <td>① オフタルマナイ線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>開設延長</td> <td>4,263m</td> <td>利用区域面積</td> <td>1,059ha</td> </tr> <tr> <td>② ふるさとの森線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>開設延長</td> <td>1,196m</td> <td>利用区域面積</td> <td>688ha</td> </tr> <tr> <td>③ オチャラベ線</td> <td>車道幅員</td> <td>4.0m</td> <td>開設延長</td> <td>422m</td> <td>利用区域面積</td> <td>84ha</td> </tr> <tr> <td>④ 上流川線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>937m</td> <td>利用区域面積</td> <td>204ha</td> </tr> <tr> <td>⑤ カミホロ2号線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>3,421m</td> <td>利用区域面積</td> <td>151ha</td> </tr> <tr> <td>⑥ ウンエナイ支線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>3,520m</td> <td>利用区域面積</td> <td>317ha</td> </tr> <tr> <td>⑦ 下幌別2号線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>1,090m</td> <td>利用区域面積</td> <td>107ha</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="2">2,727,147千円</td> <td colspan="2">(当初総事業費</td> <td colspan="2">4,332,455千円)</td> </tr> </table>	① オフタルマナイ線	車道幅員	4.0m	開設延長	4,263m	利用区域面積	1,059ha	② ふるさとの森線	車道幅員	4.0m	開設延長	1,196m	利用区域面積	688ha	③ オチャラベ線	車道幅員	4.0m	開設延長	422m	利用区域面積	84ha	④ 上流川線	車道幅員	3.0m	開設延長	937m	利用区域面積	204ha	⑤ カミホロ2号線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,421m	利用区域面積	151ha	⑥ ウンエナイ支線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,520m	利用区域面積	317ha	⑦ 下幌別2号線	車道幅員	3.0m	開設延長	1,090m	利用区域面積	107ha	総事業費	2,727,147千円		(当初総事業費		4,332,455千円)	
① オフタルマナイ線	車道幅員	4.0m	開設延長	4,263m	利用区域面積	1,059ha																																																			
② ふるさとの森線	車道幅員	4.0m	開設延長	1,196m	利用区域面積	688ha																																																			
③ オチャラベ線	車道幅員	4.0m	開設延長	422m	利用区域面積	84ha																																																			
④ 上流川線	車道幅員	3.0m	開設延長	937m	利用区域面積	204ha																																																			
⑤ カミホロ2号線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,421m	利用区域面積	151ha																																																			
⑥ ウンエナイ支線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,520m	利用区域面積	317ha																																																			
⑦ 下幌別2号線	車道幅員	3.0m	開設延長	1,090m	利用区域面積	107ha																																																			
総事業費	2,727,147千円		(当初総事業費		4,332,455千円)																																																				

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成29年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更や低コスト化に伴い、事業採択時に比べ総便益は増となり、総事業費及び総費用が減となった。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>30,200,807千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>16,092,745千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>6,541,030千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>6,635,450千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.62</td> <td>(事業採択時</td> <td>2.43)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	30,200,807千円	(事業採択時	16,092,745千円)	総費用 (C)	6,541,030千円	(事業採択時	6,635,450千円)	分析結果 (B/C)	4.62	(事業採択時	2.43)
総便益 (B)	30,200,807千円	(事業採択時	16,092,745千円)										
総費用 (C)	6,541,030千円	(事業採択時	6,635,450千円)										
分析結果 (B/C)	4.62	(事業採択時	2.43)										
② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたカラマツやエゾマツの成長は良好であり、除・間伐の施業を行った人工造林も健全な森林として整備され、森林資源として充実してきている。 林道が整備された区域においては、森林施業の効率化、木材生産の低コスト化が図られたことから、間伐等の森林整備面積が整備前の5年間では323haであったものが、整備後は1,798ha実施され、今後も1,251haの森林整備が計画されるなど森林整備が活性化された。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>森林整備については森林所有者自ら、又は、森林所有者から経営委託した森林組合が適切に管理を行っており、特に新たに植栽を行った森林については、その後も下刈り等の保育施業を適切に実施している。 開設した7路線については、枝幸町が管理者となって、町が定めた林道維持管理規定に基づき、適正に維持している。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>除・間伐等の施業が実施された森林は、不用木の除去や不用木の淘汰が適切に行われ、明るく健全な林分に改善された。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道整備により、作業現場へのアクセスの改善、素材生産の低コスト化等が図られ、森林施業への意欲が徐々に増進されてきている。</p>												

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>利用期を迎えつつある森林資源を活用し、持続的な森林経営を実現していく必要があるが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林施業の集約化や路網整備を通じて低コスト化を図り、計画的な森林整備をいっそう推進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林施業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能の公益的機能等の高度発揮に寄与している。(北海道) ・ 林道の開設後は、森林散策へ訪れる者が増加しているとともに、森林災害等の早期発見に寄与している。(枝幸町) ・ 森林施業の集約化を図り低コスト化を促進し、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、計画的かつ効率的な森林施業の実施に努める必要がある。(森林組合)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の有する多面的機能の維持・増進を図るための森林施業が計画的に実施されていること、造林、保育、素材生産等の施業を効率的に行うためのネットワークであり、林業の最も重要な生産基盤である路網が整備されたこと等から事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備については、喫緊の課題でもある間伐を優先的に実施していること、林道整備については、現地に応じた最も効果的かつ効率的な線形の設定に努め工種・工法の選定に当たってもコスト縮減に努めていること等から事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 適切な森林施業の実施により森林の有する多面的機能の維持・増進に寄与していること、林道整備により森林整備面積が増加していること、さらに持続的な森林経営と間伐材の生産性向上に向け、地域を開けた取り組みにつながっていること等から事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 北海道

地域(地区)名: ^{えさしちよう}枝幸町

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,198,372	
	流域貯水便益	2,094,210	
	水質浄化便益	4,526,990	
山地保全便益	土砂流出防止便益	11,910,329	
環境保全便益	炭素固定便益	1,985,159	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	34,852	
	木材利用増進便益	10,156	
	木材生産確保・増進便益	2,209,947	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,230,792	
総 便 益 (B)		30,200,807	
総 費 用 (C)		6,541,030	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,200,807}{6,541,030} = 4.62$		

森林環境保全整備事業 枝幸町地区 概要図 【北海道】

